

## 令和8年度第1回松山市障がい者総合支援協議会くらし部会研修会 実施報告

1. 開催日時 令和8年8月20日(木) 14:00~17:00
2. 場所 松山市総合福祉センター 5階 中会議室
3. 目的・内容 近年、日本では大規模風水害などの自然災害が頻発しており、特に高齢者や障がいのある方など「避難行動要支援者」が被害を受けやすい状況が顕在化しています。本研修会は、障がいのある方の困りごとや悩みの相談など平常時から支援等を行っている相談支援専門員を対象に、福祉専門職として災害と災害リスクを正しく理解し、防災に関する意識を高め、日頃からの備えを学ぶことで、障がいのある方の防災・災害時の支援体制を整えることを目的に開催しました。  
研修会では、大規模風水害の接近から直撃・通過に至る 24 時間をリアルに体験し、有事における知識と行動指針を学ぶシミュレーション研修「風水害 24」を行うとともに松山市の避難行動要支援者の避難行動支援の取り組みについて学びました。
4. 参加人数 42名
5. 研修会の様子



【近年の風水害について学ぶ様子】



【風水害24を実施する様子①】



【風水害24を実施する様子②】



【風水害24を実施する様子③】



【風水害24を実施する様子④】



【振り返りをする様子】

## 6. 参加者の感想

- ・ハザードマップの大切さを改めて感じました。ハザードマップはそれぞれ特徴をおさえた内容になっているので、災害リスクの高いところに住んでいる利用者さんから避難計画を立てていく必要があると思いました。
- ・今まであまり防災意識がなかったですが、今回参加して改めて事前対策の大切さを学びました。特に家から避難所に行く場合、ハザードマップや防災グッズを持参することが自分の命を守ることに直結することを知りました。
- ・考え方・優先順位が変わったので BCP を見直します。
- ・自分の防災や仕事での活用について考えることができて良かった。
- ・施設や事業所でも実施したい内容でした。
- ・災害時、適切な判断ができないこともあり、日ごろの備えが大事だと改めて感じた。
- ・日ごろから避難場所の確認や支援が必要な方がどこに住んでいるのか知っていききたい。
- ・ロールプレイを通して体験しながら学習できてよかった。